

登米市消防団を記録に刻みたい



市消防署津山出張所
高橋 勝義 所長

今回の県消防操法大会に向けて、登米市消防団で出場した津山支団を指導しました。指導は、職員全員で指導ポイントを確認しながら当たりました。

合併以来、登米市消防団として入賞しなかったこと、まして今年には登米市が開催地と

いうことで、選手も我々も「2種目優勝で総合優勝」を目標にやってきました。登米市消防団を記録に刻みたいという思いが強かったですね。

全国大会では、登米市消防団の技術の高さと結団力の強さを示し、入賞してほしいですね。



審査では、速さと正確さ、士気の高さなどが見られます

■第47回県消防操法大会の結果（表彰分）

	優勝	準優勝	第3位
ポンプ車操法	登米市消防団	大衡村消防団	栗原市消防団
小型ポンプ操法	登米市消防団	気仙沼市消防団	白石市消防団
総合順位	登米市消防団	気仙沼市消防団	

2種目制覇の総合優勝は初

県消防操法大会は消防団の火作業の技量を競うため、2年に1回、県消防協会8地区の持ち回りで開催しているものです。47回目となる今年には登米市の南方中央運動広場を会場に行われ、県内6地区から7消防団が出場。6人一組のポンプ車操法と5人一組の小型ポンプ操法の2種目で、目標に放水するまでの速さや操作の正確さなどを競いました。

競技の結果、登米市消防団で出場した津山支団が、ポンプ車

操法、小型ポンプ操法とも優勝し見事総合優勝を飾りました。登米市の消防団が総合優勝したのは、合併前の平成4年に東和町消防団が優勝して以来、2種目を制しての総合優勝は初めての快挙となります。ポンプ車操法は10月7日に東京で開催される全国大会に出場します。

大会に出場した選手は次のとおり（敬称略）。

【ポンプ車操法の部】片山俊彦、佐々木一男、佐々木大地、中村謙太、佐々木瞬、佐々木光男

【小型ポンプ操法の部】西條栄一、斉藤孝博、高橋慶之、菅原哲也、佐々木好博

出場者の声



小型ポンプ操法
西條 栄一さん
（津山町横山10区）

もともと津山の消防団はレベルが高く、大会出場に当たっては周りからハッパをかけられていました。訓練は5月から3カ月やりましたが、大変な時期もあって悩むこともありましたが、大会では、団員の気持ちを一つにすれば結果は付いてくるだろうと信じてやりました。本番は会心の出来で手応えはありましたが、優勝の結果を聞いてほっとしました。



ポンプ車操法
片山 俊彦さん
（津山町西下在）

私自身、16年前の津山町時代に小型ポンプ操法に出場し優勝することができましたが、仲間が出場したポンプ車操法の部が優勝できなかったことで、非常

に複雑な思いをしたのを覚えています。ですから今年は、2種目を制しての総合優勝しかない最初から思っていました。

出場する全国大会に向けては、県大会で足りなかった部分をもう一度チェックします。個人的には全国制覇が目標です。



参加選手を代表し力強く選手宣誓した津山支団の片山さん



▲放水するまでの速さ（タイム）も審査の大きなポイントです



▲地元での総合優勝を喜ぶ選手、関係者